

伊藤 幕末維新やまぐちDCC(9~12月)



# 相互の特産品をPR販売

## 柳井市 大阪の泉佐野市と協定結ぶ

### 関空の玄関口で市民レベルの交流を 泉佐野の提案受け、全国で33市目

柳井市は8月31日、関西国際空港に一番近い町として知られる大阪府泉佐野市と、「特産品相互取扱協定」を結んだ。両市が互いの地場特産品を取り扱うとともに、民間事業者の販路開拓や観光客増加につなげていくという。この日、泉佐野市の千代松大耕市長(43)が柳井市を訪れ、井原健太郎市長(43)と協定書に調印した。

独自に「泉佐野産(もん)商品化プロジェクト」を立ち上げ、6次産業化、ブランド化に取り組み、全国的に全国展開している泉佐野市は、大阪府南部の泉州地域に位置し、人口は約10万1000人、関西国際空港(年間総旅客者数は257.1万人)の出入り口にあり、市内の宿泊者数は14.8万4000人(平成28年中)で、うち外国人は95万7000人(全国で7位)。

町の経済発展のため、この宿泊者に目をつけた千代松市長(現在2期目)が就任当初に展開したのが、今回の協定。地場特産品にブランド力を持たせ、流通ルートに乗せることの難しさは、多くの自治体が認識していることに着目。自治体間で相互の特産品を取り扱うことの位置づけを明確化し、都道府県の垣根を越え、それぞれの地場特産品の宣伝と販路拡大につなげようというものだった。

平成25年に栃木県佐野市と初めて協定を結び、これまで北海道から沖縄県までの全国31都道府県の32市と締結。今回の柳井市が33市目(県内初、中国地方では岡山県美作市に次いで2市目)。井原、千代松両市長は、ともに全国青年市長会の会員。昨年6月、千代松市長からの提案を受け、井原市長が承諾。同年8月、泉佐野市の職員が柳井市を視察し、協定に向けて準備を進めてきた。この日、市役所で協定書に捺印した両市長。井原市長は「これまでは青年市長会の会員同士で友好関係を深めてきたが、これからは市民レベルでの関係を築いていきたい。今日がスタート。民間事業者に興味、関心をもっていたら、民間同士のビジネスにつなげてほしい」と語り、「今後、柳井の金魚ちようちんを泉佐野市の納涼イベントなどに飾りたい」と約束した。柳井市では、地域ブランド「きんさい柳井」として、金魚ちようちんや金魚関連グッズの文具、

# 柳井日日新聞

発行所 柳井市金屋区 436 〒742-0022  
(株)柳井日日新聞社  
編集発行人 友座 泰  
電話 0820-22-0758  
FAX 0820-22-2775  
購読料1ヶ月1,512円  
(郵送 1,620円)  
振替口座01550-3-005438  
《火・木・土曜日発行》



山崎のしあわせの真ん中に、  
果子乃季  
—KASHINOKI—  
柳井市柳井5275  
Phone(0820)22-0757

柳井市人口・世帯数 (8月末現在)

●世帯数	15,799 (-7)
●人口	32,596人
●男性	15,222人
●女性	17,374人
(前月比)	-36人
外国人	148人

自然薯(じね)ど、特産品41しており、今泉佐野市が民営委託している3カ所の外、光情報センター、売してもらおうという。12市の特産品いるという。一方、日本の地である泉130年の歴史州タオルや水土ネギなどを使、業品、ワタリガ、キン肉マ、ゆでたまご、ンしたゆるキ、などの特産品現段階で柳井市ような展示販売未定という。(写真はそれぞれ品の前で協定書手交わす井原代松市長(左)

## 柳居氏が全国議長会

### 就任祝賀会に柳井広域か

大島郡選出の県議会議員長、柳居俊学氏の「第71代全国都道府県議長会」が8月27日夜、柳井市の総合宴会場で開かれ、柳井市と

い出話を語り、太郎元知事の息子だ村岡知事をい。みなさん、張って、柳井市と言われるよ。